

基山町まちづくり提案書

基山町まちづくり基本条例第16条の規定に基づき下記のとおり提案します。



提案期日	2016年 7月 26日	
提案種別	提案・意見・要望（現状の確認及び認識）	
提案件名	災害発生予想（地震・豪雨等）時の防災行政無線による放送の確実性に関する確認及び検証	
提案者	住所又は所在地	基山町小倉 電話
	氏名又は名称	江淵 勉
	※提案者が基山町の住民でない場合は、勤務先又は通学先も記入して下さい。	
	提案書の公表にあたり、住所、氏名及び連絡先の公表を希望しますか。 希望する 一部希望する（ ） 希望しない	
	※未成年者が氏名等の公表をする場合は、法定代理人の承諾が必要です。	
提案の概要	災害（地震・豪雨等）が予想される場合には、被害を最小限に抑えるために情報を町民へ正確（確実）に・早く伝えることが町民の安全確保（避難準備等）に関して大切なことであると考えます。 必要な情報が町民へ確実に伝わらなかったために、町民が十分な対応ができず被災（人災を含め）が発生した場合、町民に対して大変ご迷惑をかけることになります。 防災行政無線放送は町民にとって、避難準備等に対するたった一つの情報源であり、生命・財産の確保に不可欠であります。そのため放送による防災情報の確実な提供が重要な役割を担っています。 災害が予想される事象（地震・豪雨等）に対して、現在の防災行政無線放送が町民に確実に伝達する施設設備であるか、行政担当者の認識、理解度を確認及び検証等によるデータ分析、リスク管理・対応を把握するための提案書です。	
提案の背景	災害発生（地震・豪雨）は、前兆現象がはっきりととらえられない場合が一般的です。 「安全・安心まちづくり」を構築していくためには、災害発生予想時には、適切に、早く、確実な情報を町民へ提供することが重要な要素であります。 特に、町民の高齢化が進んで避難困難者が増加していることを考慮すると、高齢者へ分かりやすい情報の提供は重要であると考えます。 適切に情報が伝わらなかった時、被災者にはどのように説明されるか（テレビ等では行政関係者のお詫びの説明を多く見かけます、そのようにならないために）。	

	最近の私の経験から ①：今年4月の熊本地震時の基山町の防災行政無線放送は、わが家では放送の内容が反響現象（やまびこ現象）で非常に聞き取りにくかったです。一方、小郡市の防災行政無線放送は、はっきり聞き取ることができました。 ②：平成26年の広島豪雨の時、土砂災害発生地域の住民は、地域によって行政無線放送が聞き取れなかったと発言されています（合同調査結果）。また、平成24年の熊本水害も同じような調結果が報告されています（熊本新聞の資料）。 基山町の場合、地震、豪雨等の場合、防災行政無線の放送が確実に聞き取れるのか。特に土砂災害危険区域や洪水危険区域の住民へ確実に情報が伝わるのですか。 数年前に、基山町が実施された災害避難に対する「訓練テスト：避難訓練放送」が放送されたとき、放送が反響現象で聞き取れなかったので、後日、確実に情報が伝わっているか、町役場の総務課へ現象を確認されるようにお話しした際には、調査して連絡しますとのことでしたが（連絡は？）。
提案の課題	最近、地震や豪雨による災害（人災・建物災害）が全国的に発生しています。被害を最小限にするためには、災害情報を正確に伝えることは重要な災害対策の一つであります。 現在の防災行政無線に対して、行政責任者としてどのような認識を持っておられるのか。また、安全・安心に対する行政サービスとして「放送による防災情報」の提供を確実にするための現状の取り組みに問題は無いのか。
目標設定	なし

提 案 内 容 （ 回 答 内 容 ）	【回答内容】 回答は、下記の内容をお願いします。 1 次回答は、これを受け取ってから 1 週間以内に回答をお願いします。 2 次回答は、現状の調査、分析を基に具体的な問題点（問題があると認識されれば）を掲げて回答をお願いします。 （注意）いずれの回答も作文（抽象的な文章）ではなく、具体的な事実関係（現在の認識、確認された内容、意見など）を基に記述してください。 よろしくお願いします。 【1 次回答：1 週間以内に回答・・・下記の①～③に対して】 （1 週間以内の回答の理由） 災害（ここでは地震・集中豪雨を対等）は、予定なく緊急に発生します（特に 8 月には集中豪雨の発生が多い）。担当者の現状認識の程度によって災害対応のスピードが違ってきます。そのため担当課が現状をどの程度把握（認識）されているかを確認したいためです。 ① 防災行政無線放送により、町民へは確実に情報が伝わっていると考えておられるのか。（聞き取りにくい地区の有無は・・・あり/なし） ② 集中豪雨時には、災害が予想される地区には確実に放送が届く放送システムですか。（放送が届かない地区の有無・・・あり/なし） ③ 災害弱者（避難困難者）と言われる町民はどの程度の人数ですか。またその方への対応はどのように実施されるのでしょうか。 【2 次回答：調査、分析された結果の回答・・・①～④に対して】 上記と重複しますが、具体的な資料を添付して回答をお願いします。 ① 防災行政無線放送で、必要な地区（町民）へは確実に情報が届く放送システムであるか（必要なエリアは確保されているのか・・・客観的なエビデンス）。 ② 可聴エリア（音達距離）は何m。 ③ 放送が届きにくい地区があればその地区を地図（どのような地図でもよい）へ表記してください。 また、町民は自分の家は届きにくい地区であることを知っているのですか ④ 豪雨時には、家の中にいる町民へ確実に情報が届くのでしょうか。 （豪雨時とは、時間雨量 50 mm 程度以上の降雨の状態） 情報が届く・届かないは、どのような検証をされた結果でしょうか（具体的な検証結果を記述してください） ※ 提案内容は、どの地域のどの対象者に対し、どの様な体制で、どれだけの期間、どの様な事業を実施するのか、任務分担、見込費用、持続可能か等を詳しく提案して下さい。
--	---

※ 提案書に記載された事項のうち、提案者欄以外は公表されます。